



より細やかな水害リスク情報を公表します 「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」

国土交通省では、気候変動に伴い激甚化・頻発化する水災害に対応するため、流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う総合的かつ多層的な水災害対策である「流域治水」の取り組みを推進しています。

この取り組みの推進を目的として、まちづくりや住まい方の工夫等の参考となるよう、現在と将来（今後実施する河川整備の効果を反映）の浸水範囲と頻度の関係をわかりやすく示す、リスクの見える化に取り組むこととしています。

今般、鳴瀬川水系・北上川水系（宮城県側）を対象とした「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を作成したことから公表いたします。

1. 公表内容

「多段階の浸水想定図」は、年超過確率（1/10、1/30、1/50等）の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面であり、現在の河川状況に加え、今後実施する河川整備も考慮し、河川整備段階毎の効果をわかりやすくとりまとめています。

「水害リスクマップ」は、「多段階の浸水想定図」を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生、浸水深50cm以上、浸水深3m以上）を示した図面であり、多段階の浸水想定図と同様に、河川整備段階毎の効果をわかりやすくとりまとめています。

2. 水害リスクマップの活用イメージ

自治体等がまちづくりを検討する際、より詳細な水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等を促進します。

3. WEB サイトURL : <https://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/project/index.html>

<発表記者會>

石巻記者クラブ、古川記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問い合わせ】

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所

住 所：宮城県石巻市蛇田字新下沼80

電 話：0225-95-0194（代表）

副所長（企画） たかだ 高田 ひろほ 浩穂 （内線205）

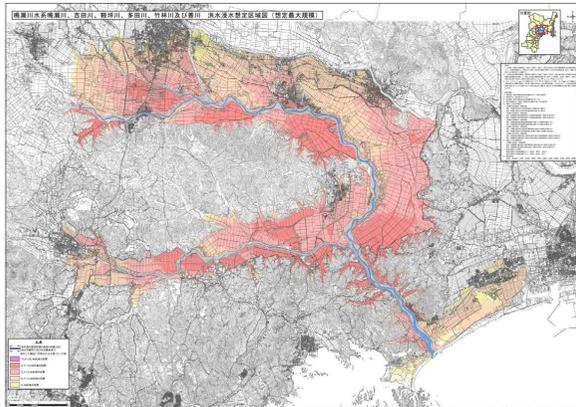
調査課長 もろはし 諸橋 たくみ 拓実 （内線351）

水害リスク情報の充実(水害リスクマップ(浸水頻度図)の整備)

- 従来、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供し、洪水時の円滑かつ迅速な避難確保等を促進。
- 今後は、これに加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ(浸水頻度図)」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進。

水害リスク情報の充実

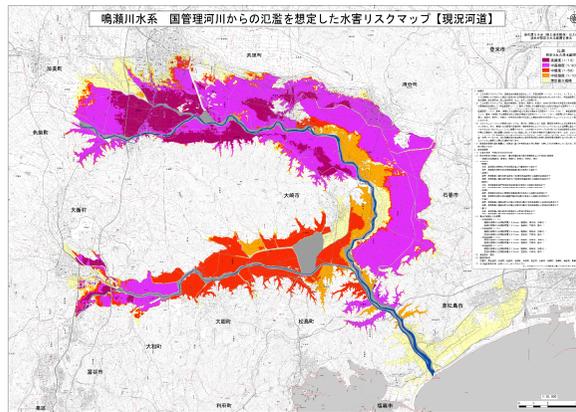
○水害ハザードマップ



○水害リスクマップ^{※1}



※2 上記凡例の()内の数値は確率規模を示しています。



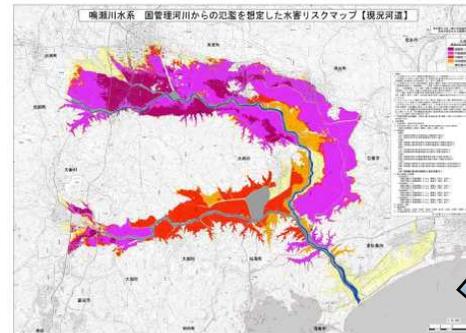
※1 当資料の水害リスクマップは床上浸水相当(50cm以上)の浸水が発生する範囲を示しています。

水害リスクマップの活用イメージ

現在の水害リスクと今後実施する河川整備の効果を反映した将来の水害リスクを提示し、以下に取り組む

- 住居・企業の立地誘導・立地選択や水害保険への反映等に活用することで、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等を促進
- 企業BCPへの反映を促進することで、洪水時の事業資産の損害を最小限にとどめることにより、事業の継続・早期復旧を図る

現在(外水氾濫のみ)



整備後(外水氾濫のみ)



河川整備による
水害リスクの軽減